

●「ノーベルの願い」の授業

12月10日は、何の日かご存知ですか。

この日は、ノーベル賞の創始者であるアルフレッド・ノーベルの命日です。そして、毎年この日に、ノーベル賞の授賞式がスウェーデンの首都・ストックホルムで開催されます（ノーベル平和賞のみ、同日、ノルウェーの首都・オスロにて開催）。道德の素材にも旬があります。本稿では、12月にちなんだ道德授業「ノーベルの願い」を紹介します。

●教材1 ノーベルの肖像画



※本年度の医学・生理学賞を受賞した京都大学 本庶佑氏やカズオ・イシグロ氏（文学賞 2017年）、大隅良典氏（医学・生理学賞 2016年）、ボブ・ディラン氏（文学賞 2016年）などの写真もあわせて活用したい。

●教材2 ノーベルの遺書



この遺書には、

私の基金の利息は、毎年、その前年に人類のために最大の貢献をした人たちに、賞の形で分配されるものとする。

という趣旨が示されています。自身の死後も、人類の発展のために尽くしたいというノーベルの願いを感じ取ることができます。

原文なので、このままではもちろん読めません。どんな内容が書かれているのかを子供たちに想像させた後、教師がその要旨を伝えてください。

※教材1・2とも、インターネットの画像検索で容易に入手できます。



12月

日

(

名前

)

)

★ノーベルはどんな思いで授賞式
を見つめているのだろうか。

